

令和4年度
新時代に対応した高等学校改革推進事業
(普通科改革支援事業) 研究指定

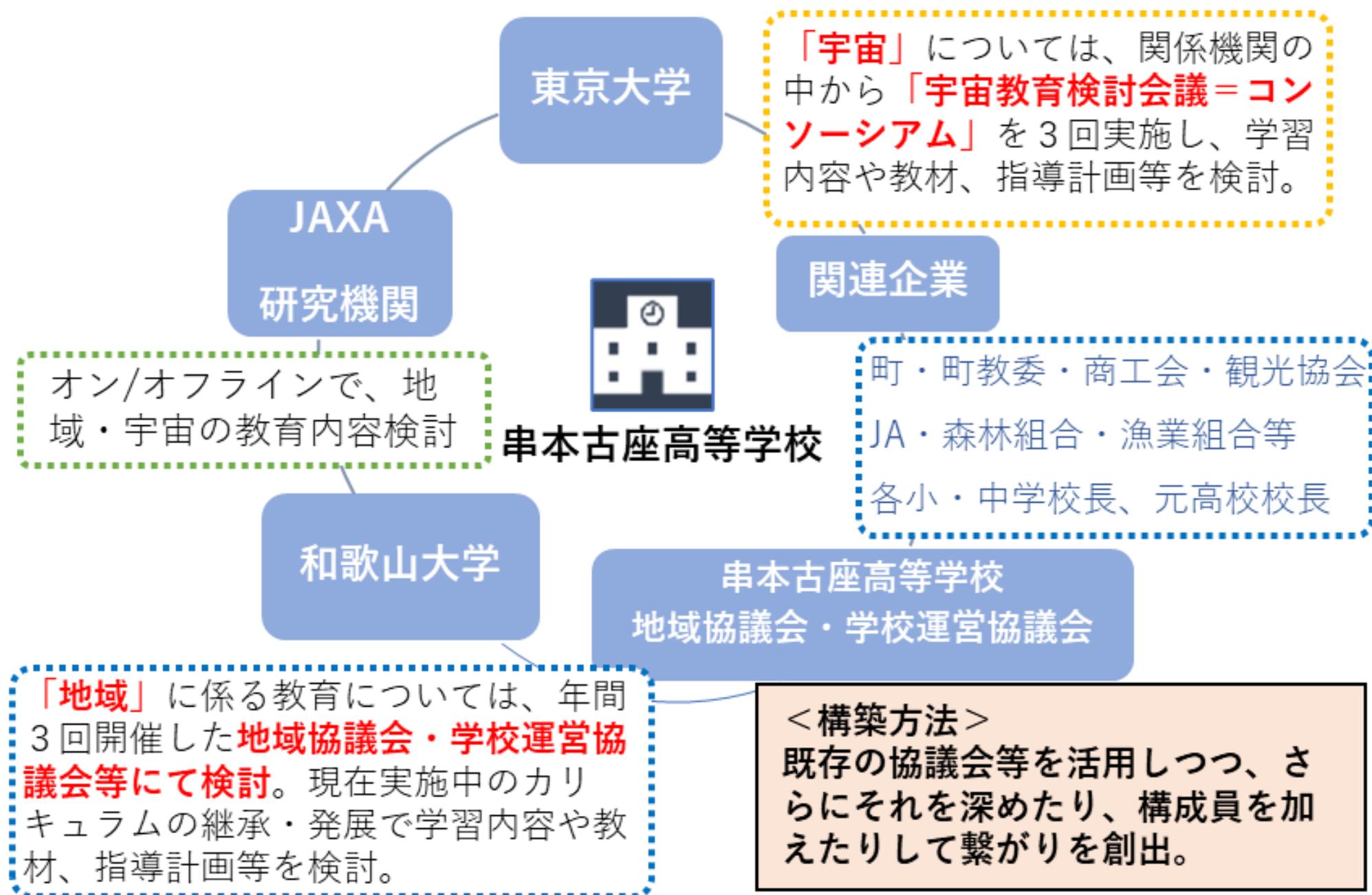
地域の多様な教育資源を活用した 新たな普通科の設置に向けた調査研究

和歌山県立串本古座高等学校

1 設置の目的

清流古座川、ラムサール条約登録地である沿岸海域のサンゴ群落、世界遺産として登録された紀伊山地の霊場と参詣道、南紀熊野ジオパーク、民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」、1890年のエルトゥールル号遭難事件以来のトルコとの交流など、地域の多様な教育資源を活用し、自らの在り方・生き方と向き合い、確固たる世界観や価値観、変化に柔軟に対応していく力、将来への展望等を併せもつ、Society 5.0 を生き抜くために必要な力を育成するため。

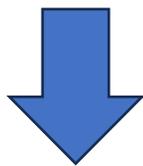
2 関係機関との連携・協働体制



3 令和4年度の主な取組状況

(1) 検討会議等

- 新たな普通科設置（コース）の検討（全職員での検討3回）
- 新たな普通科のカリキュラム検討（カリキュラム委員会・各教科）
- 新たな普通科に係る会議の設定（コンソーシアム3回開催）
- コーディネーター設置



《特色・魅力ある教育の概要決定》

「**宇宙探究コース**」「**文理探究コース**」「**地域探究コース**」の3つのコースと「宇宙」・「地域」という学校設定教科を併せ持つ**新たな普通科**を設置する。

(2) 「宇宙探究コース」設置に向けた先行的な取組例

①「総合的な探究の時間」を活用した「宇宙」に関する学び

○宇宙講座（5月）

「宇宙におけるコミュニケーションスキル
ーフライトディレクターの視点からー」

○「宇宙シンポジウム in 串本」（7月）

1年生が運営協力 CGS部の発表

○水ロケットの作成と打ち上げ（1月・2月）

②地域の小中学生を対象とした「宇宙・科学」に関する学びの提供

「地域との協働」、「高校生の地域貢献を兼ねた学び」、「宇宙探究コースの活動一例としての試験的实施」を狙いに、「串本町青少年育成町民会議」との共催で行った。1月に観望会、3月におもしろ実験教室を開き、高校生が案内や指導・支援を行った。

③課外活動を活用した「宇宙」に関する学び

缶サット甲子園・和歌山大会にプロジェクトチームを作り出場した。高校生が自作したモデルロケットに、自作した空き缶サイズの模擬人工衛星を搭載し打ち上げ、上空での放出・降下・着地の過程を通じて、技術力・創造力を競う大会である。



(3) 「地域探究コース」につながる地域関連学習の取組例

①串本デュアル

串本町・古座川町における各事業所において職業体験を実施。

1学期中にビジネスマナー等を学び、2学期職業体験を行う。



②海洋環境

地域の海岸や川、水産施設での実習・体験などを行う。当地方の教育機関や民間の専門家を招き、海洋全般についての学習を進める。



③南紀食文化探究

地域における伝統的な食事や特産品を使った食品などを地域の方を招いて実習・体験を行ったり、大学とオンラインで繋ぎ、学生の研究内容についての話をうかがったり、大学の教員から御講義や、本校生徒が調べた事柄についての発表を聴いての講評をいただいた。

(4) 「文理探究コース」設置に向けた取組例

① アジア・オセアニア高校生フォーラムに参加

和歌山県の高校生が、アジア・オセアニアの国・地域の高校生とともに、世界共通の諸課題や観光・文化等について意見交換し、グローバルな視野で物事を捉える力を養い、自らの考えを相手に伝える機会を通して、国際社会で活躍できるリーダーの育成を図りつつ、他国等の高校生と相互理解を深めるとともに、郷土への愛着と誇りを育む機会であるアジア・オセアニア高校生フォーラムに参加した（7月25日～7月27日）。



フォーラムプレゼンの抜粋

②トルコの交流（オンライン及び総領事来校）

令和4年度では、イスタンブールのマルマラ・アナドル・イマーム・ハテップ高校と和歌山県立星林高校と3校でインターネットの交流を6回持った。（学校・地域・文化紹介等）

総領事来校（1月27日（金））の際には、学校の生徒会を中心とした生徒集団と交流を持たせていただいた。生徒がトルコの国や文化などに英語や日本語で質問し、それに答えていただく形で会は進行した。

③古典文学の探究学習と現地での体験学習の往還型の学習

令和5年2月9日（木）に、那智山にて現地学習を行う。現地学習に先立ち、冬休みの古典課題として、「熊野地方と古典作品の関連」について探究し、各自がそれぞれ古典作品を読み、調べてまとめ上げた後に、実際に現地に赴き、熊野・那智ガイドの会語り部の方のご協力で、那智の1～3の滝等を見学しながら花山法王の関連事について解説を受け、学習を進めた。

学年	コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
2年	宇宙探究	古典探究 (減単1)			公共	数学Ⅱ			数学B			英語 コミュニケーションⅡ (減単1)			地学基礎		化学		物理		体育		保健	情報Ⅰ		宇宙ビジネス 探究	宇宙観測と 利活用	宇宙航空工 学				LHR	
	文理探究														日本史探究 世界史探究 地理探究		エッセイラ イティング										実用英語	現代文探究		総合的な探究の時間		LHR	
	地域探究	文学国語			公共	数学Ⅱ			・日本史探究 ・世界史探究 ・地理探究 (増単2)			生物基礎		英語 コミュニケーションⅡ		音楽総合 美術総合 書道総合		体育		情報Ⅰ		保健	マリン スポーツ	高級 デュアル	フードデザイン	紀伊半島探究α	情報デザイン	宇宙探究基礎			LHR		
														情報処理														介護福祉基礎					

学年	コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
3年	宇宙探究	論理国語 (減単1)			政治・経済 (増単1)			数学Ⅲ		数学C (増単1)			英語 コミュニケーションⅢ						体育		情報探究		化学 (増単1)		物理 (増単1)		衛星データ 分析と活用		宇宙と国際 理解		総合的な 探究の時間		LHR
	文理探究							数学探究α (IA/ⅡB+C)													文学国語 (減単1)						論文特講		日本史探究 世界史探究 地理探究 (増単2)				
	生物 (増単1)		応用理科 探究																														
地域探究	論理国語			日本史探究 地理探究 世界史探究		政治・経済 (増単1)		国語表現 (減単1)		器楽 素描 情報処理		実践数学				英語 コミュニケーションⅢ		体育		生物探究		専門数学 探究		ジオパーク学 探究		水産生物 探究		LHR					
論文探究α		文化共創探 究		関書人物探 究		紀伊半島探 究β		英語探究		観光経済		宇宙総合探究		南紀食文化探 究																			

4 令和5年度の主な取組状況

(1) 新しい学科名の決定

生徒の未来を創造する、地域の未来を創造する、日本の未来を創造するため「**未来創造学科**」とする。

(2) シラバス・授業内容の具体化

(3) 連携機関との調整

(4) 施設設備の充実

(5) 令和4年度の各取り組みの検証と改善

5 成果と課題

(1) 成果

- 全教職員の理解度促進
- コンソーシアムの意見を反映した教育課程
- コーディネーターの設置
- カリキュラムの確立
- 全国募集生の増加
- マスコミなどでの報道
- ロケット関連等、新たな取組をする生徒の増加
- 地域活動やボランティア活動する生徒の増加

(2) 課題

- ▼全職員の参画意識の向上
- ▼既存の会議と本事業の会議の棲み分け
- ▼外部会議と校内組織を有機的につなげる仕組み
- ▼持続可能なシステム作り